

【関連イベント】

■記念講演会「喜如嘉の芭蕉布」

講師：平良美恵子氏（喜如嘉の芭蕉布保存会会長）
 日時：令和6年4月21日（日）10：30～12：00
 会場：五百亀記念館2F 市民ギャラリー
 定員：50名（要予約）
 参加費：500円（入館料別）

■作品解説ツアー

五百亀記念館と愛媛民藝館の展示作品にまつわるエピソードを聞きながら展示を観覧
 講師：平良美恵子氏（喜如嘉の芭蕉布保存会会長）
 日時：令和6年4月21日（日）13：30～14：30
 ※13時20分までに五百亀記念館1Fにお集まりください。
 会場：五百亀記念館、愛媛民藝館
 定員：15名（要予約）
 参加費：500円（入館料別）

■芭蕉布着物羽織体験

芭蕉布の軽さや質感を身近に感じて

日時：令和6年4月21日（日）

①12：00～13：00

②15：00～16：00

場所：愛媛民藝館1F

参加費：300円（入館料別）

※写真撮影可

※華美なお化粧や香水等はお控えください。

■沖縄民謡三線演奏会

沖縄民謡を優しく穏やかな三線の音色にのせて

演奏者：「ウーマク」（嶋本慶氏、神野匡崇氏、大谷花葉氏、竹内直子氏）

日時：令和6年5月5日（日）

13：30～15：00

場所：愛媛民藝館1F

定員：30名（要予約）

参加費：1000円（入館料別）

■芭蕉和紙講演会

「地域発の新しい和紙 芭蕉和紙について」

講師：福田内曉氏

（愛媛大学 社会共創学部 産業イノベーション学科准教授）

日時：令和6年5月26日（日）11：00～12：00

場所：五百亀記念館2F 市民ギャラリー

定員：30名（要予約）

参加費：無料（入館料別）

■芭蕉和紙・紙漉きワークショップ

愛媛県内に自生する芭蕉を用いたの和紙漉き体験

講師：福田内曉氏

日時：令和6年5月26日（日）①13：30～②14：30～

場所：愛媛民藝館玄関前

定員：各回10名（保護者同伴で小学生から参加可能・要予約）

材料費：500円（入館料別）

準備物：汚れてもいい服装、エプロン

1：芭蕉布帯地 2：糸芭蕉繊維

3：芭蕉布着物（無地）

4：木綿地絛着物（紺地：クンジー）

5：見本裂（麦の穂） ※全て芭蕉布織物工務所蔵



【五百亀記念館・愛媛民藝館アクセス】

- ◆ 松山自動車道「いよ西条インター」より車で約15分
- ◆ JR 予讃線 「伊予西条駅」より車で約5分
- ◆ セとちバス 「西条市役所前」下車徒歩約3分
- ◆ 駐車場 15台（五百亀記念館の駐車場もご利用いただけます）



芭蕉布は、糸芭蕉の繊維からなる沖縄の伝統的な織物で、薄くて軽く高温多湿地域の夏の衣服として人々に親しまれてきました。戦後、途絶えかけた芭蕉布を復興に導いたのが、大宜味村喜如嘉の平良敏子（1921-2022）です。戦時中、女子挺身隊として岡山倉敷紡績（現・クラボウ）に渡り、航空機の製造に従事していた平良は、終戦後も帰郷が叶わぬなか、倉敷紡績社長で民藝運動の支援者だった大原総一郎の勧めにより織物を学びます。沖縄の文化復興を掲げた大原は、会社の事業計画に機織りの勉強会を組み込み、指導者には染織家の外村吉之介（倉敷民藝館初代館長）を迎えました。平良が沖縄に戻る際、大原と外村が駅まで見送り、「沖縄の織物を守り育てて欲しい」と声をかけ、その言葉を胸に、平良は地域の女性たちと芭蕉布保存会を立ち上げます。昭和49年に「喜如嘉の芭蕉布」は重要無形文化財の指定を受け、続く平成12年には長年の功績を称え、平良敏子が重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されました。

糸芭蕉の栽培にはじまり、その後全てが手作業による30近い工程を経て、ようやくひとつの織物となる芭蕉布。民藝運動の創始者・柳宗悦は、著書『芭蕉布物語』のなかで、「いつ見てもこの布ばかりは本物です。」と称賛しました。

今展は、昨春秋に好評を博した大阪日本民芸館からの巡回展となります。愛媛では展示会場を二つに分け、五百亀記念館では光沢の美しい糸芭蕉の繊維や製作工程など主に芭蕉布ができるまでを、愛媛民藝館では当館設立の提唱者・大原総一郎や外村吉之介らにまつわる作品に加え、平良敏子が女子挺身隊時代に製作した木綿の着物（倉敷民藝館所蔵）もご覧いただけます。平良敏子と喜如嘉の女性たちが、家族のため、暮らしのため、地域文化の誇りを未来に繋ぐため、知恵と工夫を凝らしながら、ひたむきに逞しく紡いできた「喜如嘉の芭蕉布物語」をこの機会にぜひご覧ください。

特別展

喜如嘉の芭蕉布物語

The exhibition of Okinawan Bashofu artifacts

